放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公

討議年月日：令和　5年　3月　1日

公表：令和　5年　3月　17日　　事業所名　（株）主人公　風の子びれっじ希生歩

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		生活介護との多機能型事業所だが、祝日や長期休みは別建物（風の子びれっじ前ヶ須）を利用するなどして場所を広く使える様にしている。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令を遵守して配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	車椅子の方のご利用の際には、玄関に段差があったりなどバリアフリーになっていない箇所がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日々のミーティングにて意見交換・共有をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		いただいたご意見になるべく沿える様、話し合いをして改善に向けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		実施している。（wamネット・弊社ホームページ等）
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は事業所スタッフのみでの共有になっている。第三者の客観的な評価もいただける様、社内で検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		3カ月に一度社内研修を行なっている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		児発管を中心にモニタリングなどで保護者様からお聞きした事を他スタッフへと共有させていただいている。皆で話し合い、支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		個々に合わせたアセスメントツールを使用しているが、見直し、改善の必要もある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月チームで話し合い、季節や個々に合わせた活動プログラムの立案を行なっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○	曜日で活動を固定して定着を目指してきた。その中でも時々季節のイベントも入れ変化をしていた。「固定化しないよう」の文言に対しては「いいえ」かなと感じたのでここは「いいえ」にさせていただいた。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休みには、平日には取り組みの難しい自立課題を行なうなど立案している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の課題や特性に合わせ、その上で利用者様・保護者様のニーズや課題に合わせて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前にミーティングを行ない、目的の共有や担当決めを行なってい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日報を通して振り返りを行なっている。様子などで緊急の事があれば、社員携帯のラインワークスのグループを通して発信している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ご利用時間を通してどの様に過ごしていたか、どのような活動だったのかを記録している。会議で検証・改善の話し合いをしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期のモニタリングの実施。達成度や改善点を話し合っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		ガイドラインに沿った基本活動プログラムを企画・実施している。過去の活動や個々の資料を参考にしながら設定している。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者及び児童発達支援管理責任者が参加をしている。事前にご利用者様の様子など、全支援員から聞き取りをした上で疑問点等を上げている。会議後に得た情報は全支援員へ共有している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校の迎え時に不明点をお聞きする事がある。年間計画、臨時休校等は学校のサイトや保護者様からの連絡にて確認する事が多い。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在、該当の方のご利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	現在は中学生からのご利用とさせていただいている為、該当の方のご利用はありません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		就労先・生活介護事業所への情報共有を担当者会議などで行なっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	今後は助言や研修等を受けさせていただき、より良い支援へと繋げていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナウイルス感染対策として今年度は地域参加の機会を設ける事が出来なかった。今後感染状況を踏まえながら実施していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○	法人内の者が代表して参加をさせていただいているが、当事業所からは該当なし。情報は共有していただいている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やモニタリング時などで様子の共有を行なっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている		○	今後積極的に進めていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にお伝えさせていただいている。疑問点や変更点が生じた際には都度お伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		至らない点もあるかと思うが、伺った事柄に関し、事業所内や相談支援員とも共有をさせていただきお答えさせていただいている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今年度はコロナウイルス感染対策の為実施を見送った。事態の終息をみて開催を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者様からの苦言をいただいた際には真摯に受け止め早急に丁寧な対応を心がけている。社内でも周知させていただき、解決責任者等にも意見いただき対応させていただく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		風の子だよりの発行・SNS（ブログ・インスタグラム）を活用して情報の発信を行なっている。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の入っているファイルは鍵付き書庫へ保管している。不要な書類はシュレッダーにかけるなど情報の流出がないように徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々に合わせた情報伝達の方法で実施している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		2023/3/25に風の子学園祭として地域の方も招待するイベントを予定している。コロナウイルス感染対策をした上で交流の場を多く持てる様に立案する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを設定してHPに掲載して周知している。変更点があれば都度周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		事業所にて定期的に避難訓練を行なっている。都度反省点や改善点について話し合い、次回の訓練に活かしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		都度研修に参加し学ぶ場を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束をせざるを得ないケースが予想されるようであれば、保護者様と話し合い十分な説明をし、ご理解ご了承を得た上で計画書に記載をさせていただく。発生した際には必ず記録を取り、次からは身体拘束を行なう事がない様、支援の強化を行なっていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様と情報を共有させていただきながら、細心の注意をさせていただき、全支援員に周知する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		早急に事業所内で共有している。すぐに改善できる様話し合いの場を設けている。